

はない。偉人のすばらしさを伝えるものでも
 はない。だが、この本を読んで一つのことに気
 がついた。知識がたくさんあると普段の生活
 がおもしろくなるということだ。ゲームをし
 て、勝ったときに見せる父のうれしそうな姿
 を見れば分かる。
 これは学校の勉強にも当てはまる。わたし
 たちはいろいろな科目の勉強をしている。何
 のために勉強をすのだろうかと疑問に思う
 ことがある。勉強をさぼりたいと考えるとき
 もある。しかし、それは間違いだ。知識を身
 につけることで、わたしたちの生活は楽しく
 なる。学校での勉強はそのために必要なのだ。
 国語を勉強して、わたしたちは字が読める
 ようになった。字が分かるようになったから
 本が読めた。本を読んで感動したことがあつ
 た。字が書けるようになった。田舎の祖父や
 祖母に手紙を書いた。祖父も祖母もわたしの
 手紙を喜んでくれた。すべて国語のおかげだ。
 理科の勉強では今まで不思議に思っていた

ことの謎が解けた。社会科を勉強して、日本
 中のいろいろな地方の様子を知ることができ
 た。音楽の授業のおかげで、音譜が読めるよ
 うになり、楽器の演奏ができるようになった。
 体がじょうぶになったのは、体育のおかげだ
 ろう。学校の勉強で身につけた知識があるか
 ら、成長することができたのだと思う。
 無理やりさせられると考えるから、勉強は
 つまらなくなってしまう。しかし、知識を身
 につければ、できないことができるようになる
 る。知らないことが分かるようになる。そう
 理解すれば、学校で学ぶことがらは役に立つ
 し、おもしろいものだと感じるようになる。
 できることの喜びと楽しさは、勉強も遊びも
 スポーツも音楽もかわることはない。
 勉強をするのは先生や両親にほめられるた
 めではない。テストの点を上げるためでもな
 い。自分の楽しみと成長のために行うものだ
 と、『確実に勝者になれる本』は、教えてく
 れたような気がしてならない。